

事業所名		多機能型事業所さくら				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		31 日	
法人（事業所）理念		一人ひとりの子どもの状態・発達に配慮し、子どもたちが安心して自分らしく楽しめる場所を作ります。医療的ケアが必要な子どもたちが安心して過ごせる場所の環境を作ります。													
支援方針		日常生活における身の回りの行動(身辺自立)や集団生活におけるルールを学び、ひとりひとりの成長をサポートする。													
営業時間		9 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持・改善：来所持の体温測定、支援中の健康観察等 ・生活リズムや生活習慣の形成：定時に行う活動、規則正しい生活の維持等 ・基本的生活スキルの獲得：トイレトレーニングや食事に関する支援、衣服の着脱の練習、買い物実習、調理実習等													
	運動・感覚	・姿勢の保持と運動・動作の向上：歩行訓練、椅子や床に座る訓練、トランポリンやサーキットの感覚統合遊び ・リズム運動：音楽に合わせて体を動かす遊びや運動													
	認知・行動	・認知の発達と行動の習得：マッチング課題、季節の行事を実施 ・空間・時間などの概念形成の習得：タイマー、時計の活用、ホワイトボードにスケジュールを掲示、ブロック遊び等 ・適切な行動の形成、認知の偏りへの配慮：環境設定、小集団でのゲーム・活動等													
	言語 コミュニケーション	・言語の獲得・聞く力の形成：絵本や紙芝居の読み聞かせ、遊びや日常の中での声掛け等 ・コミュニケーションの基礎的能力の向上：コミュニケーションの基礎となる注目・動作模倣・共同注視等を促す。 ・コミュニケーションの手段の選択と活用：指差し・ジェスチャー・手話・指文字・絵カード等 ・言語表出・受容：はじまりの会や終わりの会で発表の機会を設ける													
	人間関係 社会性	・イベント等を通して地域との交流を図る ・自己理解：必要時に振り返りを行い、自己理解を促す。 ・仲間づくり、集団への参加：小集団での活動を通して、ルールの理解や適切な振る舞いを学べるよう支援する。長期休暇には外出レクを設定し、公共の場でのルールを知る経験をする。													
家族支援		・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・子育ての困りごとへの相談援助						移行支援		・進路先や移行先への相談援助や情報提供 ・併用利用施設や学校との情報共有や支援のすり合わせ					
地域支援・地域連携		・こども園、保育園、幼稚園や学校、併用事業所との情報連携や調整、支援法王についての情報共有 ・相談支援事業所との連携 ・医療機関との情報連携や調整						職員の質の向上		・一人一人の利用児に対する担当者会議の実施、参加 ・事業所の運営に関わる資格取得の推奨(助成、勤務扱い) ・内部研修の実施					
主な行事等		・クリスマス会・節分・夏祭り・水遊び・ハロウィン・お花見 ・長期休暇には外出レク・調理レク・工場見学・お買い物実習・初詣等 ・月に一回程度避難訓練の実施													